



伝えようとする気持ち… 蒲郡中 伊藤 俊輔

僕がオーストラリアのスタディツアーで感じたことは、英語がうまく話せなくても自分の気持ちが表せるということです。

僕は英語をうまく話すことができないのでとても不安でした。だけど、知っている単語や身振り手振り、顔の表情を使って一生懸命自分の気持ちを伝えようとしたら、伝わりました。このオーストラリアスタディツアーの経験を、これからの人生に生かしていきたいです。

英語を身に付けたい 塩津中 杉浦 崇仁★

僕にとって今回のツアーは英語力を試すとても良い経験となりました。ホストファミリーの人が言っている言葉が分からない時もありましたが、文章ではなく単語でゆっくり話してくれたのでなんとか理解することができました。僕も身振りや知っている限りの単語で伝えようと努力しました。もっと英語を勉強しなければと思いました。このツアーで少しでも英語力が付いたと実感しています。

5日間だけなのに… 蒲郡中 大田 百恵

私がスタディツアーで一番心に残ったことは、やっぱり5日間のホームステイです。はじめは、ホストファミリーの話す英語が聞きとれなくてこれから大丈夫かなあと心配になりました。でも、日に日に聞き返すのが上手になってきたり、自分から話すことが多くなってきたりしました。お別れの時、別れたくない悲しさと今までの感謝の気持ちでいっぱいでした。一生の思い出になりました。

オーストラリア

中学生による海外派遣事業が、10月14日～22日の8泊9日の日程で行われました。

市内の7中学校14人の生徒がオーストラリアを訪問し、現地の中学生との交流やホームステイを通して、海外の生活、文化、風土に対する理解を深めました。

今号では、参加した生徒の声をご紹介します。

学校教育課 ☎66♦1165

ひとときのミルクティー 三谷中 山本 航

ホストファミリーとのミルクティーが言葉の壁を乗り越え、心と心を結んでくれる架け橋になりました。毎日飲んだミルクティーのおかげで、人の温かさや思いやりを感じることができました。緊張してばかりいた僕もリラックスでき、会話がはずみました。今でもお茶を飲むたびに、ホームステイのことを思い出します。僕はミルクティーのように温かい、コクのある人になりたいです。

伝わるっていいなあ 塩津中 坂部 朱里

ホストファミリーが笑顔で私を迎えてくれたので、たくさんの思い出をつくることができました。

私はファミリーと食事をしながら日本では「いただきます」「ごちそうさまでした」と言うことや、箸の使い方も教えました。そうしたら次の時から「いただきます」と言ったり、箸を使ったりしてくれました。「伝わるっていいなあ」とうれしくなり、このツアーで積極的に話しかけることができました。

9日間を終えて 三谷中 松下 景那

私がオーストラリアへ行って一番心に残ったのは、ホームステイです。ホストファミリーは、私のためにゆっくり英語を話してくれたり、一緒に昼食をつくってくれたり、とても優しくかったです。

日本語が通じない世界のなかで生活するのは大変だったけど、今使える知識を十分に発揮できた9日間だったと思います。この貴重な経験をこれからの生活に生かしていきたいです。

涙の交歓会 大塚中 水藤 奨

僕は、今回のオーストラリアスタディツアーで一番印象に残ったことは、交歓会です。行く前にみんなでたくさん練習した「ソーラン節」では、多くの方々が一緒になって踊ってくれて本当にうれしかったです。最後にみんなで歌った「WALTZING MATILDA」では、泣いてくれる人もいました。それだけ良い会をつくることのできたんだと思いました。

